

## 声楽 アドバイザー



### 吉川 治子(ソプラノ)

宇都宮市出身。宇都宮短期大学附属高等学校音楽科声楽専攻卒業。宇都宮短期大学音楽科声楽専攻卒業。  
同研究科声楽専攻2年課程修了。第16回、18回、19回、20回卒業演奏会に出演。

声楽を名倉省三氏、名倉佳子氏、後藤寿子氏に師事。

平成4年、ウィーンにて声楽をエステルレッティ氏に師事。

栃木県民オペラでは、「魔笛」童子役でオペラデビュー。その後、「ヘンゼルとグレーテル」、「蝶々夫人」、「カルメン」、創作オペラ「那須与一」に出演。

平成16年、NTTドコモ生命のコンサート 音楽劇「赤毛のアン」バーリー婦人役で出演。

その他、数多くの演奏会に出演。

平成16年、大田原市立金田南中学校講師。

現在、宇都宮短期大学音楽科、同附属高等学校音楽科、同附属中学校講師。

## 1. 本番前に

さあ、本番です。

その前に、体のコンディションを整えましょう。

声楽は「体が楽器」です。

発声はしましたか。喉に適量の水分を与えましたか。

など、まず体を整えましょう。

## 2. 舞台へ

体のコンディションを整え、深呼吸をし舞台へ向かいましょう。

舞台へ向かって歩き出したときからあなたの舞台です。

客席で聴いて下さる一人一人のお客様へ笑顔で丁寧にお辞儀をしましょう。お客様もワクワクしながらあなたの歌声を待っています。

堂々と舞台に立ちましょう。



### 3. 主役になろう

さあ、歌います。歌の世界へ。

いつもの自分とは変わります。

大ホールに響き渡る自分の歌声を感じながら満喫しましょう。

オペラの役になりきることができましたか。

歌の世界に入り、表現することができ、お客様へ届けられましたか。

そして、歌っている自分が気持ちよく歌えて楽しめましたか。

気持ちよく歌えたら、きっとお客様に届いていますよ！



## メッセージ

毎日の練習はとても大切です。

他の楽器とは違って、声楽は体が楽器なので長時間続けての練習は喉を壊します。気を付けましょう。

練習時、声を出すだけではなく、自分の出している声をしっかり聴きとれる「耳」が大切だと思います。自分の歌声をしっかり「耳」で聴き取り、ひとつひとつ学んでいながら一步一步前進し、素敵な歌い手となれるよう努力しましょう。一回一回の舞台を大切に！

そして、お客様への感謝を忘れずに！

お客様からのあたたかい拍手がとっても嬉しく快感となり、また次の舞台に立つことが楽しみとなります。

自分の声は「世界にひとつ！」です。

毎日の丁寧な練習で、益々美声に。



ウィーンにてエスターレッティ先生と